

# ビッグスロットルボディーキット (φ 26) 取扱説明書

製品番号 03-05-0111

適応車種	モンキー (FI) (AB27-1900001 ~)
	R ステージボアアップキット及び、
	R ステージボアストロークアップキット取り付け車

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

FI-CON PLUS は必ず取り付けして下さい。エンジンが始動出来ません。  
R ステージ装着車用 FI-CON PLUS (05-04-0046) を使用されている方でビッグスロットルを使用する場合、ビッグスロットル対応の新プログラムへバージョンアップする必要がありますのでコントローラー本体を弊社まで送って頂く必要があります。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。  
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋を着用して下さい。)
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◎ボルト、ナットは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
- ◎このパーツはクロード競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。  
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ◎ステアリングダンパステーキットと同時装着出来ません。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。  
(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。  
(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- エンジンの回転中は、スロットルボディー吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射する事があり、大変危険です。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部品名	個数	リペア品番
1	インテークマニホールド	1	00-00-1495
2	スロットルボディ（Oリング付属）	1	00-03-0321
3	Oリング 30mm	1	00-00-0417（3ヶ入り）
4	ソケットキャップスクリュー 6x18	2	00-00-0720（5ヶ入り）
5	チューブ	1	00-07-0073（長さ 500mm）
6	ホースクランプ	2	00-00-0216（4ヶ入り）
7	ホースコネクタ	1	00-00-0220
8	インシュレーターバンド	1	00-03-0322
9	インシュレーター	1	00-00-1499
10	エアフィルター 42mm	1	03-01-106

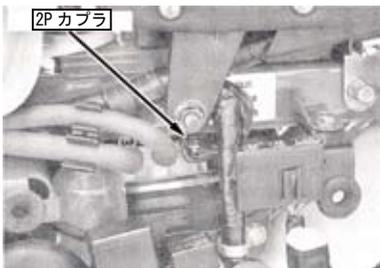
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ  
 お願い致します。  
 ※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。  
 使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●スロットルボディの取り外し

★サービスマニュアルを参照し、スロットルボディを取り外します。

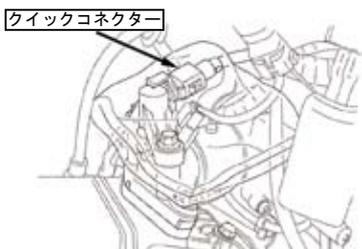
○サイドカバーを外し、メインスイッチをOFFにし、フューエルポンプユニット 2P カプラの接続を外します。



○メインスイッチをONにし、キックで5回以上クランクし、フューエルホース内の燃圧を抜きます。

○メインスイッチをOFFにします。

○フューエルホースを取り外す際に、異物がホース内部に入らない様コネクタ周りをエアブローし、コネクタの周りをウエス等でカバーします。

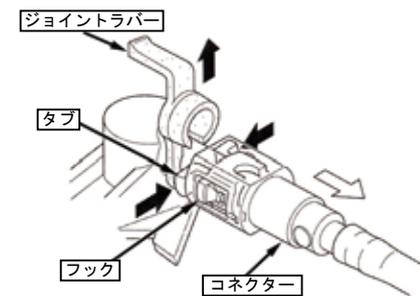


○クイックコネクタを保持し、リテーナーのタブを押しリテーナーのフックをコネクタの穴から外し、クイックコネクタを引き抜き取り外します。

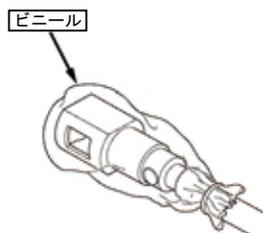
※取り外しは手で行い、工具等は使用しないで下さい。

※フューエルホース内のガソリンを適当な受け皿で受けて下さい。

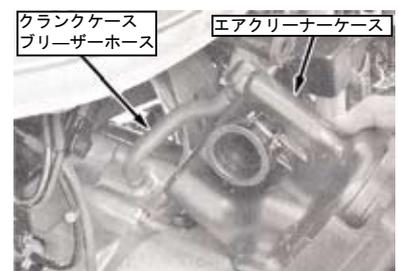
⚠注意: ホース、クイックコネクタ、インジェクタージョイントを損傷させない事。



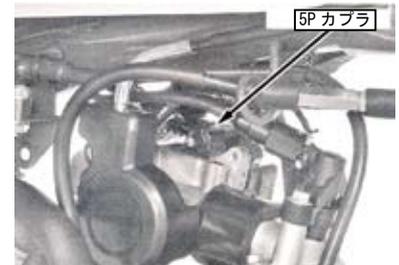
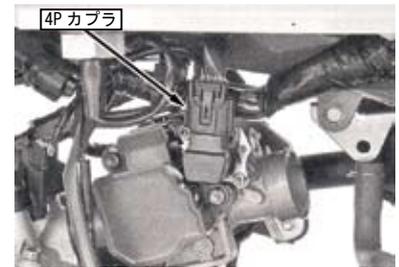
○クイックコネクタのジョイント部に損傷やゴミの混入を防ぐ為、コネクタをビニール等で被う様にします。



○エアクリーナーケースを取り外します。

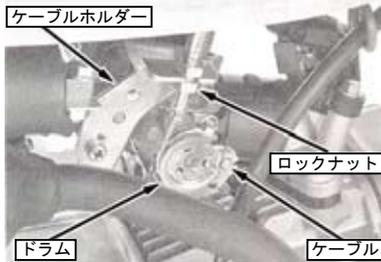
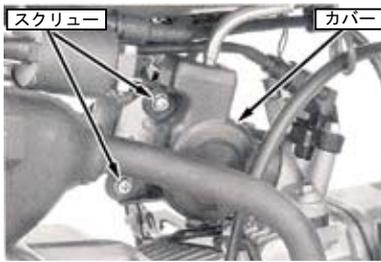


○4P、5P カプラの接続を取り外します。

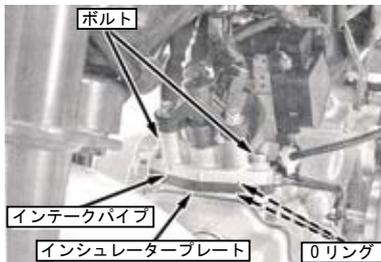


■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

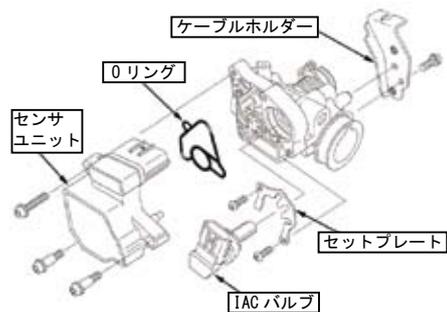
○スロットルドラムカバーを外し、スロットルケーブルを取り外します。



○インターパイプの2本のボルトを外し、スロットルボディを取り外します。



○ノーマルスロットルボディよりセンサユニット、アイドルエアコントロールバルブセット、ワイヤステーを取り外します。  
※センサユニットの取り外しにはT型トルクスレンチ T25、アイドルエアコントロールバルブセットの取り外しには、いじり止めトルクスレンチ T20 が必要になります。



### ●スロットルボディの組み立て

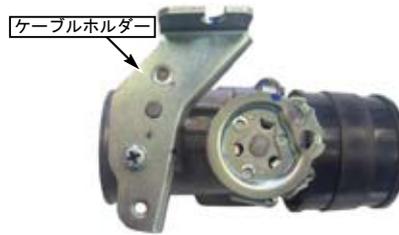
○取り外したセンサユニット、ケーブルホルダーをキット付属のビッグスロットルボディに組み付けます。

※スロットル開度センサのクリップとスロットルバルブの突起を合わせながら、センサユニットをスロットルボディに取り付けて下さい。

⚠注意：センサユニットのOリングを正しく取り付けなければ、アイドリング不調の原因となります。

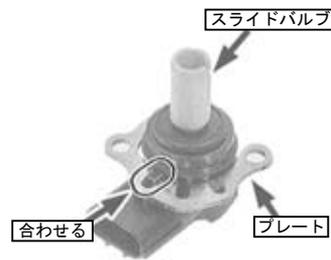
○スクリーンを取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリーン  
T25 : 3.4N・m (0.35kgf・m)



○アイドルエアコントロールバルブをキット付属のビッグスロットルボディに組み付けます。

○プレートをIACバルブに取り付け、下図の様にプレートの溝を合わせます。



○スライドバルブの溝をスロットルボディのピンに合わせ、IACバルブを取り付けます。



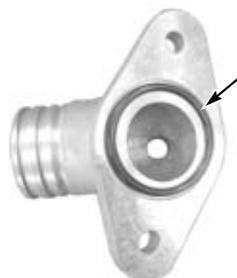
○スクリーンを取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリーン  
T20 : 2.1N・m (0.2kgf・m)

### ●スロットルボディの取り付け

○マニホールドにOリング 30mmを取り付け、シリンダーヘッドに取り付け規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク : 12N・m (1.2kgf・m)



○インシュレーターの THROT BODY 文字側をスロットルボディに合わせて回り止めの突起とインシュレーターバンドの穴を合わせて取り付けます。  
インシュレーターバンドの向きは写真を参考にして下さい。



○ノーマルスロットルケーブルの場合、全長に余裕が無いのでケーブルガイドを通さない様に取り回しを変更します。



○マニホールドに取り付け、インシュレーターバンドのスクリーンを仮締めします。

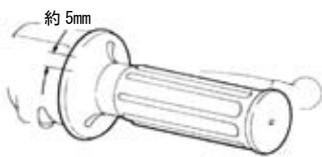
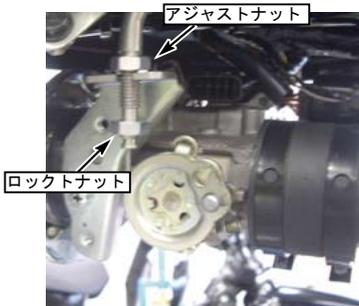


○スロットルケーブルを取り付け、スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来る様にスロットルケーブルのアジャストナットを調整します。

ハンドルを左右いっぱいに切った状態でスロットルケーブルに若干の遊びがある様、取り回しを調整します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

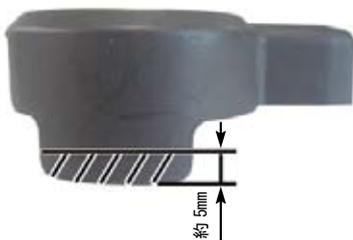
- 調整後はアジャストナットを固定し、ロックナットを締め付けます。
- ※スロットルを変更する場合は、使用するスロットルの指示に従って調整して下さい。
- ※スロットルを数回スナップさせ引っかけりやスロットルバルブの全開状態を確認します。ステアリングを左右いっぱいに切った状態でもスロットルに遊びがある事を確認して下さい。



- スロットルワイヤーがフレームに干渉しない角度に合わせインシュレーターバンドを締め付けます。



- スロットルケーブルカバーを取り付けます。スロットルケーブルカバーを取り付ける場合は一部加工が必要になりますので画像を確認して下さい。



### ●インジェクターの取り付け

- インジェクター上部のOリングとシールリングに薄くオイルを塗布します。
- マニホールドにインジェクター、純正インジェクタージョイントを取り付け、純正ボルトで締め付けます。

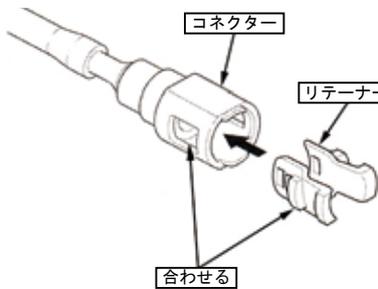
▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
純正ボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

▲警告：必ず純正ボルトを使用する事。  
不適切なボルトの使用は、純正インジェクタージョイント脱落の原因となり、重大な事故につながる恐れがあります。

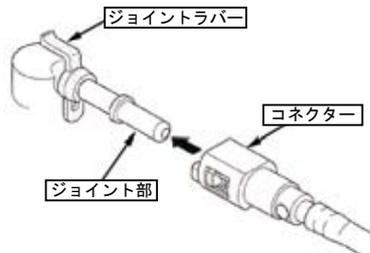


### ●フューエルコネクターの接続

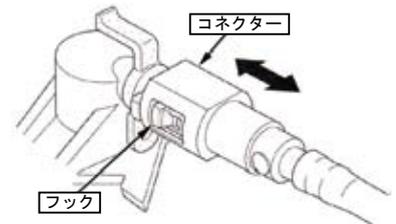
- 新品のリテナーのフックをジョイント部の穴に合わせ取り付けます。
- ※フューエルホースがフレーム、その他パーツに干渉しない様に注意します。



- インジェクタージョイント部にコネクターが「カチッ」と音が出るまでコネクターを差し込みます。



- リテナーのフックがコネクターの穴に入っている事を確認します。



- エアフィルターを取り付け、バンドを締め付けて固定します。



- ノーマルのホースとキット付属のチューブを適宜切断し、キット付属のコネクターで繋いでエアフィルターに接続して下さい。



☆ブローバイガスを還元する為、エンジンオイル等でフィルターが目詰まりしやすく、又、スロットルボディ内にスラッジが詰まりやすくなる為、オイルキャッチタンクの使用を推奨します。

- 最初に取り外したフューエルポンプユニット 2P カプラを元通り接続します。

